

愛隣の風

愛隣園 基本理念



マタイ福音書第五章九節

法律の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、法律の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」
イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』
これが最も重要な第一の掟である。
第二も、これと同じように重要である。
『隣人を自分のように愛しなさい。』
法律全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』
(マタイ福音書二十一章三十五〜四十節)

九州大会出場しました！

八月二十二日〜二十四日に大分県で第六十三回九州児童福祉球技大会が開催されました。夏休みに入り毎日暑い中、この日に向けて練習を頑張りました。
一回戦、宮崎県代表チームに十一対〇の五回コールドで勝つことができましたが、二回戦は今大会優勝した福岡県代表チームに二対八で負けてしまいました。
愛隣園にとっては七年ぶりの九州大会出場になり、初めて出場した子どもが多く良い経験と思いきや、出になりました。
西日本新聞社をはじめご支援して下さった関係者、応援して下さいました皆様、誠にありがとうございました。



高2年 女子作
「フラワーアレンジメント」

『中学校統合に寄せて』

愛隣園 施設長 迎田 浩二

中学校統合準備委員会参加より

平成二十九年四月十一日、中学校の入学式であります。緊張した面持ちで我が愛隣園の新中学生六名が体育館に入っております。担任の先生からの点呼、男子六名、女子四名、計十名。愛隣園からの子ども達も十名中、六名です。全校生徒が四十四名。少子化の波がこの地域にも押し寄せていることを痛感致します。
市行政（教育委員会）の計画として、平成三十一年度山鹿市内の中学校（全校生徒約七百名）への統合を実施する旨の伝達を受け、準備委員会への参加となりました。

平成二十九年八月に出されました「新しい社会的養育ビジョン」により、社会的養護、児童養護施設を取り巻く環境は激変すると考えられ、特にケア困難な児童の施設措置が多くなる状況が生まれる中、現状、小規模校で手厚いケアを目指して入所してきている子ども達、特に当園の子ども達が、特別支援学級の約八割を占める現状で、約六倍も遠い距離（行政はスクールバスを検討中）、約十五倍多い生徒数の学校に通うこととなります。また、施設入所の子どもの達は、年度当初のみではなく、年間を通して入所してくる訳であり、市行政、特に教育委員会には、職員加配制度を含め、特段の配慮をお願いしたいと考えます。
地域の皆様も、施設を取り巻く環境へのご理解をいただき、ご支援、ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

☆職業指導員の活動報告☆



職業講話について (2017年7月)

熊本市にある㈱クマベイス 代表取締役 CEO 田中森士氏、シニアディレクター林和文氏による職業講話を開催しました。「人生の主人公になろう！」「納得感のある進路選択を」をテーマに、ご自身の経験談も交えながらユーモアたっぷりにお話し頂きました。雑談タイムの中で子どもたちの話に耳を傾けて下さったり、積極的に質問を続ける子達に、講話終了後も熱心にアドバイスをくださいました。普段対外的な大人との関わりが少ない子どもたちにとって、自ら道を切り開き社会で活躍する大人の姿を見ることは良い刺激になったのではないかと感じ、また、自分の人生は自分のものであることを再確認する良いきっかけになったのではないかと思います。



自立生活体験 (2017年8月)

夏休みの中で、高校生3名が卒園後の自立のための疑似体験を行いました。今回は山鹿市内にアパートを借り、卒園後を想定したよりリアルな空間を設定。家計簿をつけ金銭管理をしながら、買い物、自炊、家事、また「仕事のある生活の組み立て」を目標にした職場体験や、フィールドワーク、社会資源の利用等の体験を行いました。「園ではおはよう、お帰りと言ってもらえるありがたみがわかった」との言葉が出たり、食費のやりくりの中で節約しつつも驚くほど美味しい料理を作り満足げに話してくれました。子どもたちにとって、体験を通じて将来について考える良い機会になったと思います。



小学校高学年お仕事体験プログラム (2017年8月)

“他児との協同、自発性・能動性を育む”を目的としたグループワークに参加する、小学5・6年生の子ども達から“動物に関わる仕事を体験してみたい！”と要望があり、イオンペット八代店にて職場体験を行いました。イオンペットでは、入荷された商品を棚に陳列するお仕事を体験。広い店内からは、同じ商品を見つけるのにも一苦労。大変な集中力がある作業でしたが、積極的にお店の方へ尋ねる子、他児に聞いてみる子、自分のペースで作業を進める子、黙々と陳列する子など、普段は見られない子どもたちの姿を見ることができて、職員にとっても、発見の多い1日となりました。



温かいご支援に感謝申し上げます

(H29年4月から9月まで)

九州労働金庫 様
原賀歯科 様
㈲東海レジャー 様
永野公誠 様
大木英子 様
松井精肉店 様
牛嶋邦子 様

ミ・ルアール 様
松永淑美 様
木村恭子 様
松永純一 様
マルキン食品 様
真生堂 様
エース薬局 様

マルハン山鹿店 様
坂口周平 様
プレム・ラワット日本事務局 様
㈲タスカジャパン 様
リプレット基金 様
(一社)生命保険協会熊本県協会 様
九州アイスクリーム協会 様

(順不同)



子どもたちの行事&園内外の行事!



小中学校運動会
五月二十一日中学校の体育大会が行われました。全校生徒四十五名の小さな学校のため保護者や職員の出る競技も多く、子ども達と一緒に体育大会を楽しみました。翌週の五月二十八日には小学校の運動会が行われました。朝から興奮気味な様子の子どもたちでしたが、競技が始まると練習の成果を発揮し、張り切って臨む姿に成長を感じました。

自転車安全教室
九月二十四日小学校のグラウンドで小学生までを対象とした自転車教室を開催しました。皆笑顔で楽しみながらも、自転車は左側走行、横断歩道は左右を見て渡るなど、交通ルールを再確認し、事故を起こさない、事故に遭わない行動について真剣に学び、取り組んでいました。
警察署の皆様、小学校の先生方、ご協力ありがとうございました。



グリーンランドの園全体レクリ
平成二十九年度的全児童職員での大型レクリは八月十七日に荒尾のグリーンランドに行ってきました。小学生以下はウォーターパーク、中学生は遊園地でそれぞれ楽しみました。暑い中、子どもたちはとてもはしゃいで遊んでいました。職員も子どもたちに負けられないように一緒にしゃしゃいでいましたが、とても疲れた様子でした。最後はこがり日焼けした姿で帰路に着きました。とても楽しい夏休みの思い出になりました。



世界女子ハンドボール代表がやってきました
八月八日世界女子ハンドボール大会のイベントで、ポーランド代表の選手と交流しました。
英語でスピーチにチャレンジする児童。ボールを使ったハンドボールのミニゲームや選手との電車こっこのレクリエーションなど楽しい時間を過ごすことができました。
ポーランド代表の皆様素敵な時間をありがとうございました。



七夕の日 流しそめん
七夕の日に流しそめんを開催しました。本格的に竹を組む作業からはじまり、子どもたちは興味津々で準備を見つめながらお昼を待ちました。いざ、流しそめんがスタートすると、勢いのよい水の流れになかなかそめんを掴めない小学生。歓声を上げながら協力しあったり、お椀をてんこ盛りにしたりする中高校。職員も一緒になって笑い合ながら大盛り上がりで食べました。
最後はアイスも流れてきて大満足、大成功でした!



夏季球技大会
七月十七日に、児童福祉施設球技大会に男子は野球、女子はバレーに参加しました。野球チームは見事準優勝となり九州大会の子ケットを手に入れました。バレーチームは予選敗退という結果で、子どもたちも悔しがられる様子が見られました。子どもたちにとっては悔いの残る大会になったかもしれませんが、子どもたちの成長につながる事と、来年の大会に向けてまた頑張りたいと思っております。
参加児童、職員の方々本当にお疲れ様でした。



きらきら輝いている子どもたち!



ホワイトハウス高二年、女子
私は、この夏休みに初めてアルバイトを経験しました。最初は緊張して不安だったけど、バイト先の方達が気軽に話しかけてきて下さり、アルバイトをするのが楽しかったです。また、分からない事は質問しました。私は質問するのが苦手でしたが、アルバイトを通して学校でも前より質問できるようになりました。アルバイト最終日に、給料をもらった時はものすごく嬉しかったです。次のアルバイトは、接客は苦手だけどレジ打ちに挑戦しようと思います。

オレンシハウス 高一年、女子
課外と課題に追われた夏。高校に入学してから、初めての夏休みは課外で始まりました。課題も沢山の量を出され、特に英語は大変だと思いました。課外の期間中は、いくら寝ても寝足りなくらい毎日が眠かったです。まとまった休みはあったものの、他の高校よりも後期課外の開始が早く、ブツブツ文句を言いながら眠気と戦っていました。でも、クラスの半数以上は課題が終わっていませんでした。私は全て終わることが出来たので良かったと思います。



グリーンハウス 中二年、男子
八月二十五日に山鹿市灯籠祭第十五回中学生ソフトテニス大会に参加しました。
夏休みの練習も毎回参加し、当日は暑い中全力でプレーし、予選は全勝。決勝リーグは苦戦しながらも、優勝する事ができました。
秋の大会も優勝を目指して頑張ります。



レインボーハウス 中一年、男子
八月二十五日に剣道の昇級試験がありました。
以前剣道をしていたこともあり、剣道部に入部しました。部員も少なく、練習試合や試合に出場させてもらっていましたが、あまり運動が得意ではない方ですが、毎日休まず部活に参加し頑張りました。そして、昇級試験に無事合格！とてもうれしかったです。これから更に頑張っていこうと思います。
応援してくれる職員にも感謝しています。



彦島ハウス 高二年、男子
八月七日から十日までの三泊四日「自立生活訓練」に挑戦しました。山鹿市内アパートの一室を借り、一人暮らしの体験を通し、生活力や社会性の大切さを感じることができました。
買い物、調理、働く体験など、日常生活の中では中々できないことを沢山体験しました。調理では、一定の金額からアイディア料理で一つの料理を応用したり、シチューを小麦粉で作ってみたい...!様子をみに来た職員も驚いていました。職場体験も初めて取り組みましたが、二日間頑張った高い評価を頂くことができました。
働くことの大変さを感じ、それ以上に喜びと自信に繋がる良い体験になりました。
これからの生活でも、この体験を糧に将来に向けて何事にも挑戦し頑張っていこうと思います。



健康食生活担当職員の紹介
①氏名 ②職種 ③勤務年数 ④一言

①永田よしの
②調理師
③13年目
④いっぱい食べる、君が好き

①毛利慶子
②栄養士
③9年目
④感謝

①富田菊代
②調理師
③22年
④一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつけが出る

①高見紗織
②調理師
③2年目
④子どもたちに美味しい食事を届けられる様に頑張ります。

